

2023 年度 環境経営レポート

株式会社 三惠製作所

対象期間：2023 年 4 月～2024 年 3 月

発行日：2024 年 10 月 25 日

1. 組織の概要

- 事業所名及び代表者氏名

株式会社 三惠製作所

代表取締役社長 片岡 正安

- 所在地

本 社：東京都江戸川区東小松川 4-39-7

三郷工場：埼玉県三郷市彦成 5-265

- 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：片岡 正雄 TEL：03-3656-1021 FAX：03-3656-1023

Eメール：kataoka@sankeilock.co.jp

- 事業の概要

錠前の設計・開発・製造

- 事業規模

主要製品の生産量、

	本社	三郷工場
延床面積	600 m ²	160 m ²
主要製品の生産量	10 t	4 t

- 従業員数：32人

2. 対象範囲

- 登録組織名：株式会社 三惠製作所

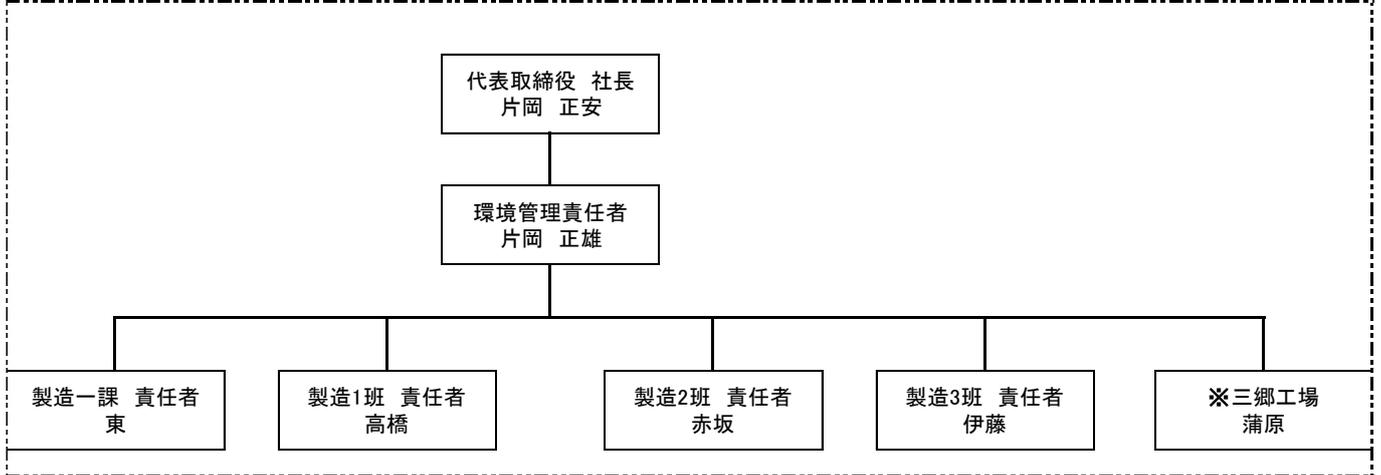
- 対象事業所：

本 社：東京都江戸川区東小松川 4-39-7

三郷工場：埼玉県三郷市彦成 5-265 (2021年度取り組みを開始)

3. 実施体制

2023年1月10日現在



※2021年度実績確認とEA21取組み準備。
2021年4月～EA21活動開始。

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人を用意 ・代表者による全体の評価と見直し・指示
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者に代わり、エコアクション21の構築・運用する。(代表者からエコアクション21の権限を委任) ・環境負荷・環境取組の把握及び評価 ・環境関連法規等の取りまとめ及び遵守評価 ・実施体制の構築 ・環境経営目標・環境経営計画の策定及び取組状況の確認・評価 ・教育・訓練の実施 ・環境上の緊急事態への準備及び対応 ・文書類の作成・管理 ・環境コミュニケーションの実施(環境経営レポートの作成) ・同(外部からの苦情・要望への対応) ・問題点の是正及び予防
製造一課/製造1班 製造2班/製造3班 責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標及び環境経営計画の実施・確認・評価・達成状況の報告 ・環境活動におけるチェックリストの記録・運用・管理を行う
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・弊社で策定した環境経営方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚する。

4. 環境経営方針

環境経営方針

理念

株式会社三惠製作所は錠前の開発・設計から製造までを一貫して行う企業である。

弊社は本業である錠前の生産を通じて地球温暖化問題への取り組みや

地域の環境活動に従業員一丸となり継続的に改善活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動方針

1. 環境関連法規や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等、廃棄物の発生抑制に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 環境へ配慮した現場作りを継続的に行い、顧客クレームの削減を図り
お客様に安心して使用していただける製品を提供します。
- 6 環境経営方針に全従業員が積極的に取り組み、社会的責任を果たしてまいります。

2018年8月28日

(株)三惠製作所

代表取締役社長 片岡 正安

5. 環境経営目標・環境経営目標の実績

5.1 中期目標

		基準年度 本社：2019年度 三郷工場：2021年度	2020年度 目標	2021年度 目標	2022年度 目標	2023年度 目標
1.二酸化炭素排出量削減						
•電気 (kWh)	本社	80,987	△2% 79,367	△4% 77,748	△6% 76,128	△7% 75,318
	三郷工場	38,172	-	-	△2% 37,409	△4% 36,645
•ガソリン (L)	本社	3,964	3601 (本社工場のみ)	3627 (本社工場のみ)	3964 (基準年)	△2%
	三郷工場	※基準年度2022年度 三郷工場と合算	-	-		3,885
•灯油 (L)	本社	1,119	△2% 1,097	△4% 1,074	△6% 1,052	△7% 1,041
	三郷工場	7,856	-	-	△2% 7,699	△4% 7,542
•都市ガス(m3)	本社	148	△2% 145	△4% 142	△6% 139	△7% 138
	三郷工場	3.4	-	-	△2% 3.3	△4% 3.3
•液化石油ガス (Kg)	本社	-	-	-	-	-
	三郷工場	1,425	-	-	△2% 1,397	△4% 1,368
2.産業廃棄物排出量削減						
•一般	本社	82	△2% 80	△4% 79	△6% 77	△7% 76
	三郷工場	2023年度より 実施	-	-	-	76 ※基準年
•有価 (t) 本社：真鍮・ステンレス・鉄 三郷工場：亜鉛ダイカスト	本社	3.29	△2% 3.22	△4% 3.16	△6% 3.09	△7% 3.06
	三郷工場	5.26	-	-	△2% 5.15	△4% 5.05
•水使用量の削減 (m3)	本社	312	△2% 306	△4% 300	△6% 293	△7% 290
	三郷工場	把握できないため、定性的削減活動実施。				
•化学物質の適正管理	本社	使用無し				
	三郷工場	使用無し				
•クレーム件数 (件)	本社	8	7	6	5	4
	三郷工場	10	-	-	9	8

5.2-1 2023年度（対象期間 2023年4月～2024年3月）実績（本社）（三郷工場）

■ は三郷工場のみを記載。

1.二酸化炭素排出量削減		基準年度 本社：2019年度 三郷工場：2021年度	目標値 本社：2023年度 三郷工場：2023年度	実績 本社：2023年度 三郷工場：2023年度	目標 達成 状況	評価		
・電気kWh (Kg-CO2)	本社	kwh	80,987	75,318	76,575	×	新たな設備を導入した事で 昨年よりも電力使用量は上がった。	
		Kg-CO2	46,486	34,043	34,611			
	三郷工場	kwh	38,172	36,645	40,121	×		
		Kg-CO2	17,253	16,563	18,134			
・ガソリン (L)	本社	L	3,674	3,885	3,222	○		
		Kg-CO2	8,523	9,142	7,476			
	三郷工場	L	543	2023年度より 本社と統合		—		
		Kg-CO2	1,403					
・灯油 (L)	本社	L	1,119	1,041	1,265	×	目標達成はできなかった。 2024年度は数値を減らせるように 努めたい。	
		Kg-CO2	2,786	2,592	3,149			
	三郷工場	L	7,856	7,542	9,563	×		昨年も生産する部品の種類が増えた為、 灯油の使用量が増えた。
		Kg-CO2	19,561	18,778	23,811			
・都市ガス (mf)	本社	m ³	148	138	88	○	目標を達成できた。	
		Kg-CO2	319	298	190			
	三郷工場	m ³	—	—	—	—		
		Kg-CO2	—	—	—			
・液化石油ガス (kg)	本社	kg	—	—	—	—		
		Kg-CO2	—	—	—			
	三郷工場	kg	1,428	1,368	762	○		使用量が少ない為、 2本使用していた元栓を1本にしてことで 目標を達成した。
		Kg-CO2	4,282	4,104	2,286			
・CO2合計 (Kg-CO2)	本社	58,114	46,075	45,426	×	本社工場・三郷工場ともに 目標を達成できなかったが 引き続き数字で管理していく事で エネルギー使用削減に努めたい。		
	三郷工場	42,357	39,445	44,231	×			
	総合計	100,471	85,520	89,657	×			

○目標達成 △目標未達成但し基準年比減 ×目標未達成

※本社、電気のCO2排出計数は2021年4月～2021年8月までは

KDDI株式会社の調整後排出計数0.574Kg-CO2/Kwhを使用した。

※本社、電気のCO2排出計数は2021年9月～2022年3月までは

東京電力エナジーパートナーの調整後排出計数0.452Kg-CO2/Kwhを使用した。

※三郷工場、電気のCO2排出計数は東京電力エナジーパートナーの、

調整後排出計数0.452Kg-CO2/Kwhを使用した。

※2023年4月よりガソリン使用を本社と三郷工場で統合しました。

5.2-2 2023年度（対象期間 2023年4月～2024年3月）実績（本社）（三郷工場）

1.廃棄物排出量削減		基準年度 本社：2019年度 三郷工場：2021年度	目標値 本社：2023年度 三郷工場：2023年度	実績 本社：2023年度 三郷工場：2023年度	目標 達成 状況	評価
・一般（kg）	本社	82	△7% 76	62	○	
	三郷工場	2023年度より実施		76		
・有価物（t） 本社：真鍮・ステンレス・鉄 三郷工場：亜鉛ダイカスト	本社	3.29	△7% 3.06	2.54	○	
	三郷工場	5.20	△4% 5.05	4.49	○	
・水使用量（m ³ ）	本社	312	△7% 290	307	×	水の使用量は1年を通し安定しており、毎年安定した使用量で計算できている。
	三郷工場	把握できない為、定期的に削減活動の実施を行う				
・化学物質の適正管理	本社	使用無し				
	三郷工場	使用無し				
・クレーム件数（件） ※毎年1件減少	本社	8	4	6	×	目標達成は出来なかった。 是正対策をしっかりとこない 来期は目標値を下回るようにする。
	三郷工場	10	8	9	×	

○目標達成 △目標未達成但し基準年比減 ×目標未達成

※三郷工場、水使用量は他社と共用メーターで管理している為、数量把握できません。

※1 本社の産業廃棄物の排出は廃油：190Kg

6. 環境経営計画・取組結果と評価、次年度の計画（本社工場）

環境経営計画	取組結果	評価	次年度の計画
1. 二酸化炭素排出量削減（電気） ①昼休みの消灯 ②節電シールにより呼びかけ ③エアコン・暖房の温度設定（夏は25度・冬は20度） ④一部に断熱シートを設置 ⑤エアー漏れ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休みの消灯の実施できている ・室温管理の記録を行った ・エアーの配管の交換した ・一部フロアに仕切りを設置 	○	継続して実施する。
2. 二酸化炭素排出量削減（ガソリン）（灯油）（都市ガス） ①エコドライブの徹底 ②空気圧、月一チェック ③燃費管理	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの教育が必要である。 ・タイヤ空気圧は、100%実施出来た。 ・燃費管理は実施していない ・配送ルートを効率化した事で運転時間を短縮した ・フロア間に仕切りを設置し、熱の循環を高め、灯油の使用頻度を減らしたい。 	○	継続して実施する。
3. 一般廃棄物排出量削減 ①両面コピーの実施 ②廃ダンボールの再利用	<ul style="list-style-type: none"> ・社内用に使う紙の80%は裏面用紙にプリントアウトしている。 ・ダンボールは底に板を入れて再利用を実施しています。 	○	継続して実施する
4. 産業廃棄物排出量削減 ①不良部品を減らす ②設計段階から材料の歩留まりを考慮する	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行う品質会議で不具合部品を確認し原因を確認、流出を防ぐ。 	○	継続して実施する。
5. 水使用量の削減 ①節水シールにより呼びかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・節水シールを貼った。 	○	継続して実施する。
6. 化学物質使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質は使用していない 	—	
7. 顧客クレームの削減 ①工程内不良削減の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・納期厳守 ・品質不良発生防止 ・不具合部品の削減の徹底 	○	継続して実施する。

評価○経営計画は概ね実施出来た。△実施したがまだ不十分。×計画通り実施出来なかった。

6. 環境経営計画・取組結果と評価、次年度の計画（三郷工場）

環境経営計画	取組結果	評価	次年度の計画
1. 二酸化炭素排出量削減（電気） ①昼休みの消灯 ②節電シールにより呼びかけ ③スポットクーラー使用時は扉をしっかり閉める。	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休みの消灯の実施できている 	×	継続し実施する。
2. 二酸化炭素排出量削減（ガソリン）（灯油）（都市ガス） ①エコドライブの徹底 ②空気圧、月一チェック ③燃費管理	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの教育が必要である。 ・タイヤ空気圧は、100%実施出来た。 ・燃費管理は実施していない ・配送ルートを効率化した事で運転時間を短縮した 	○	継続し実施する。
3. 産業廃棄物排出量削減 ①不良部品を減らす ②設計段階から材料の歩留まりを考慮する	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行う品質会議で不具合部品を確認し原因を確認、流出を防ぐ。 	○	継続し実施する。
4. 化学物質使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質は使用していない 	—	
5. 社内クレームの削減 ①工程内不良削減の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・納期厳守 ・品質不良発生防止 ・不具合部品の削減の徹底 	×	継続し実施する。

評価○経営計画は概ね実施出来た。△実施したがまだ不十分。×計画通り実施出来なかった。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、 訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規等について、2023年8月31日に遵守評価を実施した結果、本社工場・三郷工場ともに、これらへの違反はありませんでした。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

環境法規制の内容 (適用：本社および三郷工場)	該当事項	遵法状況
環境確保条例 ・工場の設置の認可 ・騒音・振動規制法	・機械プレス ・コンプレッサー ・ダイカストマシーン	設置届： 届出済み 規制遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・アルミ、ステン2種、鉄 ・亜鉛ダイカスト ・廃油	取引契約を結び、適切に 処理または売却

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

2023年度はエネルギーの価格上昇が強い年だと感じた。
環境経営目標に沿った活動を行い、無駄なエネルギーの流出を抑え、
二酸化炭素排出削減に努めたいと思います。

三郷工場は2021年度よりエコアクションの取り組みを開始した。
本社同様、2023年度は本格的に取り組み、習慣的に環境活動が行える現場にした。

エネルギーの使用量の“見える化”をする事で
全従業員にエネルギー使用について考える事が習慣化してきたので継続的に続けていきたい。

(以上)